

- 高千穂町と陸自が防災訓練 (2面)
- あす、フリーウォーク-北川C付近 (3面)
- 各党、自民政政策攻撃に照準 (5面)
- 来年3月にN響宮崎公演 (7面)
- 「げんきごはん」津田さんが最優秀賞 (8面)
- 虎鹿が全勝V-会長杯ソフトバレー (9面)

販売部 ☎550002  
 (購読) FAX ☎553005  
 営業部 ☎513005  
 (広告) FAX ☎515006

購読料(月) 直配1988円  
 郵送3138円  
 1000円

①タリデイ新聞社  
 延岡市大貫町2丁目1302番地  
 〒882-8577 ☎代表☎95000  
 FAX☎95050  
 郵便振替口座01950-2-15519  
 日向支社 日向市春原町2丁目15番地  
 ☎☎36622-FAX☎7376  
 宮崎支社 宮崎市宮田町3番一文字ビル3階  
 ☎☎3625-FAX☎9082  
 高千穂支局 高千穂町三田井1180番地34  
 ☎☎27200-FAX☎27410

タリデイウェブサイト <http://www.yukan-daily.co>

絶滅危惧種

オヤニラミ 確認相次ぐ

五ヶ瀬川水系 繁殖の可能性も

県内には生息しないとされる淡水魚の「オヤニラミ」が、延岡市の五ヶ瀬川水系で相次いで見つかっている。この中には体長2〜3センチの幼魚も含まれており、市は繁殖の可能性があるとみて注目している。



五ヶ瀬川水系で捕獲されたオヤニラミ。えらぶたにある目のような紋が特徴(延岡市生活環境課)

市生活環境課などによると、オヤニラミは、スズ目ケツキ科の純淡水魚。体長13センチと小さく、えらぶたにある、黄色く縁取られた目のような斑紋が特徴。雄が卵を守る様子から「親がにらみを効かす」など名の由来には諸説ある。

朝鮮半島南部と九州北部を含む西日本の川だけに生息するが、開発による環境悪化などから徐々に減少し、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。県内の河川には本来生息せず、県のレッドデータブックや延岡市の自然環境調査報告書に記載はない。

五ヶ瀬川水系では、平成19年9月と20年3月に体長5センチ前後の幼魚が見つかった。この時は観賞用に飼っていた人が逃がした可能性が高いとされたが、その後も確認が続ぎ、今年も同課が把握しているだけで既に6匹が見つかっているという。

握しているだけで既に6匹が見つかっているという

捕獲後に市に持ちこまれた1匹は、同課の水槽で飼育されている。最初は川で取れる生きたエビを餌に与えていたが、最近ではアカムシなども食べるようになり、体長約4センチと夏に捕獲された時より1センチほど大きくなったという。

同課は「これほど頻繁に見つかるとは、外から持ちこまれたオヤニラミが五ヶ瀬川水系で繁殖しているからではないか。流れが緩やかで澄んだ水を好むだけに、五ヶ瀬川の水質が生息環境に適した可能性もある。もし繁殖していれば生息の南限が変わる可能性もあり、今後、調査の必要性も検討したい」と話している。